

弊社ユニット計画と製作の特徴

ポンプ配置・ヘッダー管配置のパターン化

ポンプユニットの標準化を為にA～Dの4パターンのユニット形状に限定して各機械室のスペースに最適な形を選択する。

フレーム構造の標準化

従来は溶接構造でフレームを製作しますが、溶接構造では作業効率が悪く、全ての作業工程に人間が介在するので、製作の自動化が困難である。この部分を解消するためにフレームをボルト構造にすることにより、溶接ロボットによる生産がある程度の範囲で可能になる。

ボルト構造のメリット

- ①組立ジグで製作が出来る。
- ②塗装作業が容易である。
- ③メッキ処理の架台ではメッキ工場までの輸送車両の台数を減らすことが出来る。
- ④構成部品の大半がバラバラになるので遠隔地に輸送をして現地で組み立てる時などには輸送車両の台数を減らすことが出来る。
- ⑤リニューアル工事などでは部品毎の搬入が出来るので、搬入開口を余り大きくしなくても搬入が出来る。